

令和7年度予算を掘り下げる

令和7年第1回定例会では、令和7年度予算が審議され、一般会計予算326億2千万円をはじめ、全8会計の予算が令和7年3月21日に可決、成立しました。

総務費や民生費など、大きな分類では何に使われるのかイメージが湧きにくいものですが、実際の質疑では具体的な項目に触れており、より身近に感じられます。

ここでは予算審査特別委員会で行われた質疑の一部を取り上げ、紹介します。



その他の
質問項目はこちら
(附属資料を
ご覧ください)

【総務費】シニアカー購入補助金の申請条件緩和を

Q 問合せが増えているシニアカー購入費補助金は、免許返納前になぜ申請できないのか。移動手段がなくなる前から申請できなければ意味がないのでは。

A 自主返納しやすい環境作りを推進するのが目的である。自主返納後に外出する際の利便を図り自立した生活を支援するための補助金であるため、自主返納してからが前提である。



外出に便利なシニアカー、道路交通法上は「歩行者」とみなされる



令和7年度は新庁舎建設仕上げの年となる

【総務費】新しい地域公共交通

Q 路線バス対策事業について、令和6年度予算から1億円を超える増額となっている。増額分の詳細は。

A 公共交通の見直しに向けた、路線バスやデマンド交通に用いる車両などの購入費用に5千362万2千円、停留所の設置費用やデマンド配車システムの導入費用など合計8千96万2千円である。



AI 新交通実証実験第2弾の運行区域図、旧松井田町エリア外の停留所として「公立碓氷病院」と「JR 碓氷駅」が設定されている

【総務費】新庁舎建設における起債と返済計画

Q 新庁舎建設にかかる起債の額と返済計画は。

A 予算ベースだが、合併特例事業債、緊急防災・減災事業債、脱炭素化推進事業債で合わせて49.5億円、交付税算入予定額は利子分を除き33億円を見込んでいる。25年で償還し、年利1.7%とした場合の年間返済額は、2億4千200万円となる。